

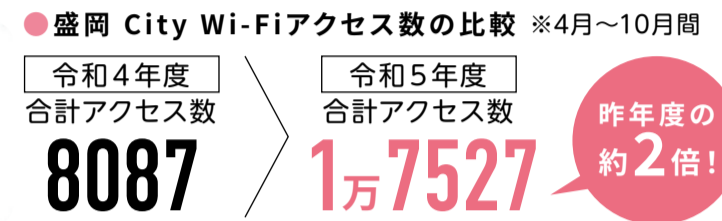
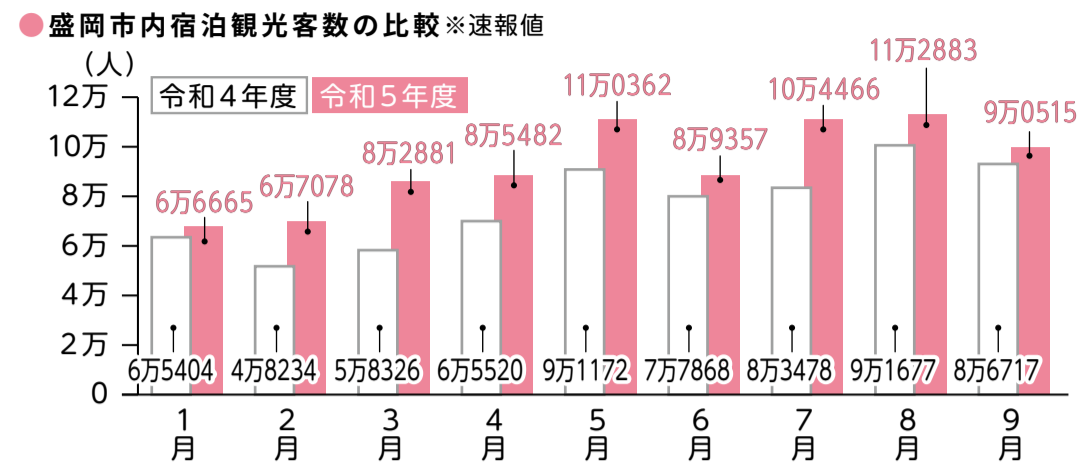
「隠された宝石」が
多くの人の目に触れた

盛岡の魅力

さまざまなメディアでの報道もあり、盛岡の認知度が高まった2023年。その変化をデータから振り返ります。

盛岡の変化

データで読み取る



サービスエリアが広がり、盛岡駅東口から盛岡八幡宮までの市街地などで利用できることから、観光客の街歩きを助けるツールになりました。

盛岡で注目されたスポットベスト10

順位	スポット名	閲覧数
1位	木伏緑地	1537
2位	Nagasawa COFFEE	1262
3位	盛岡城跡公園	1140
4位	福田パン長田町本店	993
5位	紺屋町番屋	960
6位	盛岡駅	954
7位	盛岡八幡宮	931
8位	喫茶ふかくさ	923
9位	もりおか町家物語館	910
10位	ティーハウス リーベ	887

※盛岡ノスタルジックトリップまち歩きマップ調べ (集計期間: 令和5年1月～10月末)

盛岡来訪者の声

※盛岡来訪者向けWebアンケート 「盛岡に来て良かったところを教えてください」より抜粋

街がきれい(ゴミや落書きが少なく清潔)。岩手山や桜など景色がきれい。



空気がきれい。街並みがコンパクト。観光案内所でとても分かりやすい観光ルートを教えてもらって効率よく回れた。



歴史ある建物やきれいな街並み、山や川の自然に囲まれた環境が良かった。



Beautiful City and Landscape!
「(訳)美しい都市と風景」
(スイス・30代男性)



盛岡の魅力は、私たちの暮らしに溶け込んでいます

コンパクトで歩いて回れるのが盛岡の良いところ。ニューヨーク・タイムズ紙で紹介されたスポットを巡る90分の観光コースは特に人気で、案内した後に再度、行く人も多いですね。古い建物が残っていたり、中津川沿いを散歩できたりすると魅力と感じるようです。観光客を案内していると、普段私たちが何気なく目にしている風景を大切にしなければと、改めて気付かされますね。また、ガイド中に市民の皆さんからお客様に「こんにちは」と声をかけてもらうこともあります。市民と観光客との距離が一気に縮まるようで、いつも感謝しています。



盛岡ふるさとガイド 会長 照井 孝 さん

「普段の暮らし」と「観光」が切り離されていないのが魅力です

観光案内をしていると客層の変化を感じます。これまではアジア圏の来館者が多かったのですが、現在はヨーロッパなどからの来館者も増えました。また、首都圏からの観光客も多いですが、改めて自分の街に興味を持った地元の人も増えたと感じます。盛岡は街中に歴史的な建造物や自然が多く残っていて、観光スポットが暮らしになじんでいるところが魅力。当館を起点に、市内のさまざまなところを歩いて楽しむ観光客も多いので、市民の皆さんもぜひ街中を歩いて、暮らしの中にある盛岡の魅力を見つけてもらえるとうれしいです。



もりおか歴史文化館 アテンダント 吉田 葵 さん

私のお気に入り

櫻山かいわいが好きで、昔からよく行きます。お昼時には行列ができるお店もあって、活気がありますね。神社を中心の一つの街並みがあるというのも良いですね。



私のお気に入り

四季の移り変わりが感じられる盛岡城跡公園が好きですね。街中に残っているのがすごいと思います。あと、鉈屋町の街並みも好きです。歴史があって、今も実際に暮らしが営まれているのが魅力ですね。ぜひ歩いて街の雰囲気を感じてほしいです。



来てみて気付いた盛岡
もりおかって
どうですか?
離れて気付いた盛岡



大切なものは、近くにあると意外と気付かないのかもしれない。少し離れた場所から盛岡を見つめることで、私たちの当たり前の日常に隠れている魅力が見えてきます。

来てみて気付いた盛岡

街と自然の融合、あると思います!

人の温かさや自然の美しさ、街のちょうどよいサイズ感など、盛岡の魅力はさまざまあると感じています。こんなに住みやすい街は他にないのではないかと思います。ニューヨーク・タイムズ紙の報道後は、岩手銀行赤レンガ館前などで写真を撮る観光客が増えたように思いますが、盛岡に来る人は不思議とマナーの

良い人が多いような気がしていて、そんなところも盛岡らしくて好きですね。この素晴らしい街の魅力をまだまだ知りたいので、市民の皆さんからいろいろと教えてもらえるとうれしいです。



もりおか魅力発信大使 天津木村 さん

私のお気に入り

北上川と中津川が交差するところの遊歩道から見る、北上川と駅前のマンション群と、その向こうに見える岩手山の、なんともいえないまぜまぜな景色が好きですね。



離れて気付いた盛岡

盛岡は、うまく言えないけど「なんか良い」んです

20年ほど盛岡に住んでいたのですが、離れてみて感じるの、「なんか良い」ということ。例えば、東京から新幹線で戻ってきて、開運橋を渡りながら岩手山を見ると、盛岡に帰ってきたぞと感じる。いつも見ていた風景は、自分を迎えてくれる大切な存在だったのだと気付かされますね。東京で「盛岡出身です」と言うと以前は「どこにあるの?」と言われることも

ありましたが、今は「ニューヨーク・タイムズに出たよね」と言われることもあります。報道で盛岡の認知度も高まったと思いますが、盛岡の良さはいつも通りの暮らしにあると感じています。城下町の街並み、街中にある自然など、元々持っている素晴らしい魅力を大切に、街づくりに生かすのが盛岡に合っているのではないかと思いますね。



リトルもりおか 発起人 榎引 亮 さん

【リトルもりおかととは】

「盛岡市」をキーワードに、主に20代～30代の盛岡に少しでも関わったことがある人が、ゆるく繋がる首都圏のコミュニティ。コミュニティの活動については、Instagramをご覧ください。



私のお気に入り

川原橋から見る中津川が好きです。大沢川原に住んでいたことがあって、サケが遡上してくる季節には、よく橋の上から川を眺めていました。懐かしい風景ですね。



普段の暮らしに根付いた魅力を
これからも見つけ、磨き、つないでいきましょう。

市長コラム

盛岡の魅力は、私たちの普段の暮らしの中にあり、地域の人々の手により長い年月をかけて磨かれてきたからこそ、「宝石」と評されるものになったのだと思います。市内外から、たくさんの人に見つけていただいた暮らしに根付く盛岡の魅力を、これからも大切にし、さらに発展させ、共に発信していきましょう。



盛岡市長 内館 茂



私のお気に入り

小学校への登校で渡っていた毘沙門橋から見る中津川は、私の原風景です。あの頃は高いと思っていた欄干が、今はちょうどいい高さになって、自分も大人になったのだなと思いますね。

盛岡の魅力

共有しましょう!

市民の皆さん、盛岡ファンの皆さんが感じる盛岡の魅力を、市ホームページで紹介しています。12月1日からは、さらなる魅力発見の取り組みを開始! 詳しくは15ページのもりおかインフォをご覧ください。

